

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 28 年 4 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 28 年 1 月～3 月期の実績および平成 28 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	20 社	66.7%
水産業部会	30 社	16 社	53.3%
機械工業部会	30 社	16 社	53.3%
建設業部会	30 社	18 社	60.0%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	17 社	56.7%
合 計	150 社	87 件	58.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

—業況はやや改善。来期は変化なく横ばいの見込みだが、業種間で明暗—

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成28年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲12.6**と前回調査時の▲19.7より**7.1ポイントの改善**となりました。前回調査時の見通しでは▲47.3を示していましたが、大幅な業況の悪化は回避出来たと予測されます。

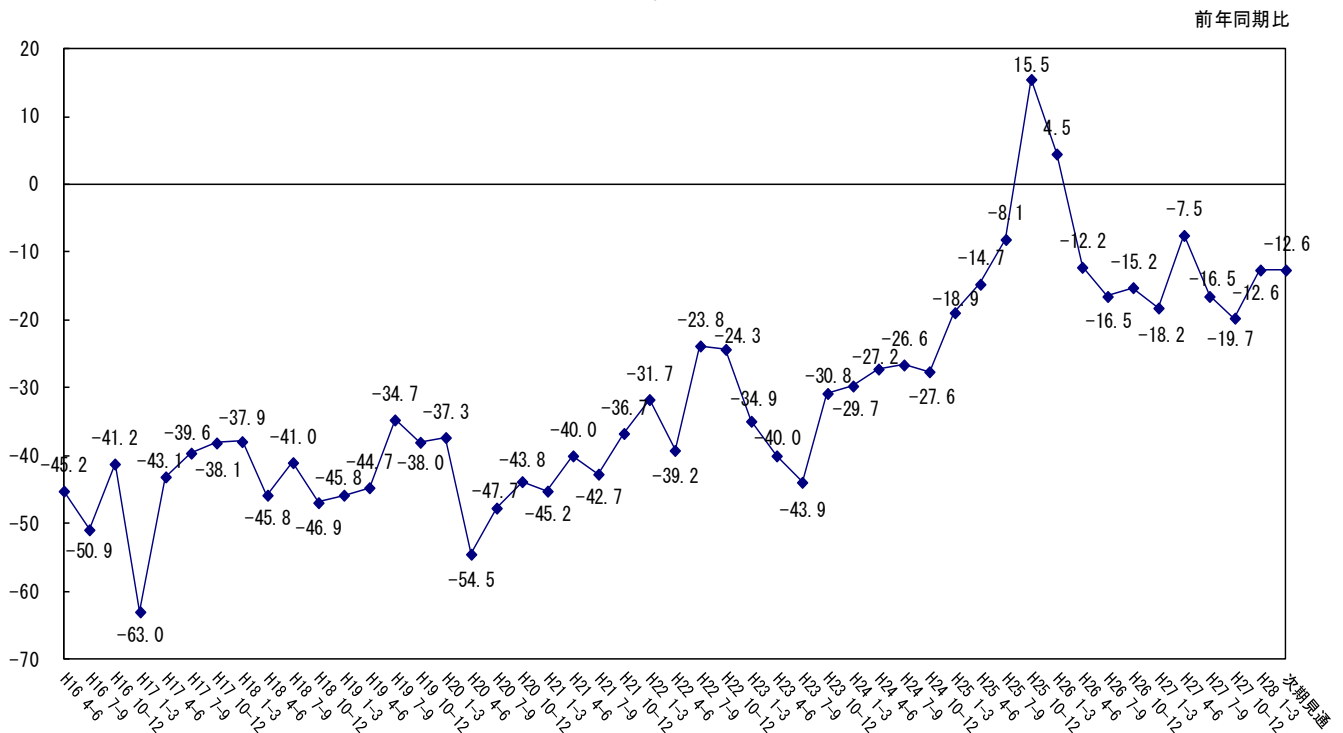
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前年DI値▲21.1→**今期▲5.0**]、水産業[前年DI値▲21.1→**今期▲18.8**]、機械工業[前年DI値▲38.5→**今期6.3**]、建設業[前年DI値▲11.8→**今期▲27.8**]、観光・サービス・諸業[前年DI値▲5.0→**今期▲17.6**]となりました。

今回の調査では、建設業、観光サービス・諸業を除く3業種で前年同期比より業況が好転しています。今冬は穏やかな日が多く1月まで積雪が例年に比べ少なく推移し、2・3月にまとまった降雪があったものの、建設業の冬期間の売上となる除排雪作業が減少した事によるものと思われます。しかしながら、原油の価格が前年と比較して値下がりしたことや、吹雪による国道の通行止めが昨年と比較して少なく、物流等も滞ることがなく順調に推移したことによるものと思われます。

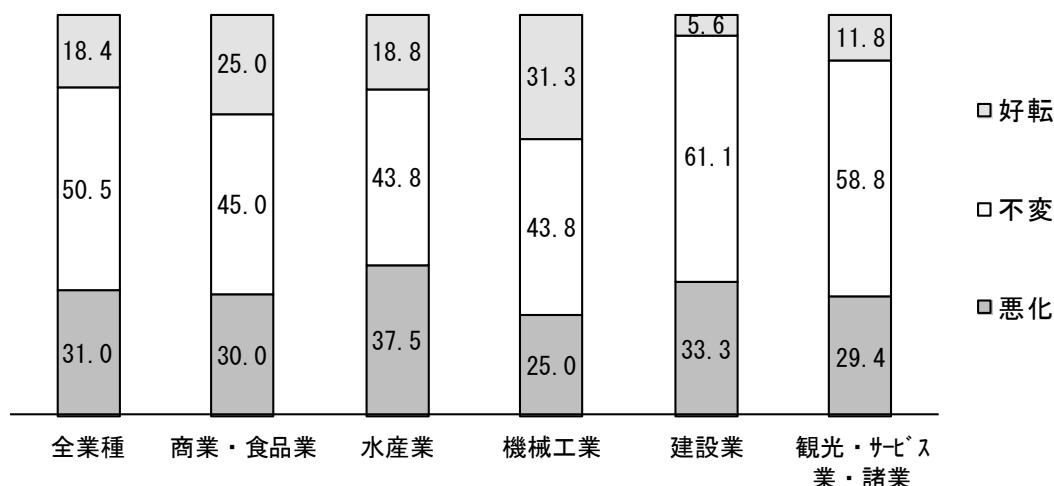
次期(平成28年4月～6月)の業況判断DIは今期と横ばい(次期見通し▲12.6)の予測となっています。最盛期を迎える建設業や整備事業が多い機械工業、新生活の準備や春の行楽シーズンと様々な場面で動きが出てくる観光・サービス業・諸業は今期よりも好転する予測となっております。しかしながら、商業・食品業で▲30.0、水産業も▲43.8と大幅な悪化を示しており、依然として慎重な見方が続いております。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転—悪化)



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「材料等の仕入単価の上昇」「需要の停滞」「従業員の確保難」を訴える声が多く寄せられており、原材料の減少等による仕入単価の上昇、即戦力となる熟練技術者や将来性のある若い人材の確保に苦慮しているとの声が多くなっています。

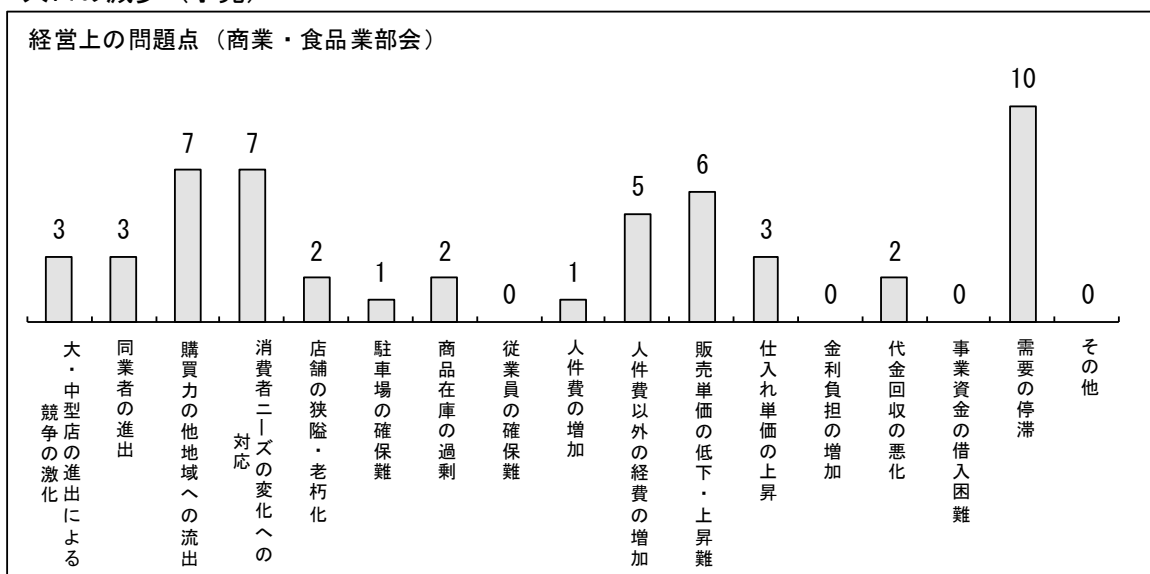
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲5.0（前年DI値▲21.1、来期見通し▲30.0）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期よりも大きく改善していますが、次期見通しは25ポイント大きく悪化する予想となっています。昨年6月より販売された20%のプレミアム付き「もんべつ地域活性化商品券」により購買意欲を刺激した昨年と比較しての悪化に加え、購買力が他地域へ流出することも懸念されています。経営上の問題点としては「需要の停滞」「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・「中心市街地に来る理由がない」とお客様に言われる。理由を聞くと「あれも無い、これも無い！」と言う。不足業種が多すぎる。靴、下着、着物等（小売）
- ・お客様の高齢化による購買力低下と自然減（死亡・引越等）（小売）
- ・人口の減少（小売）

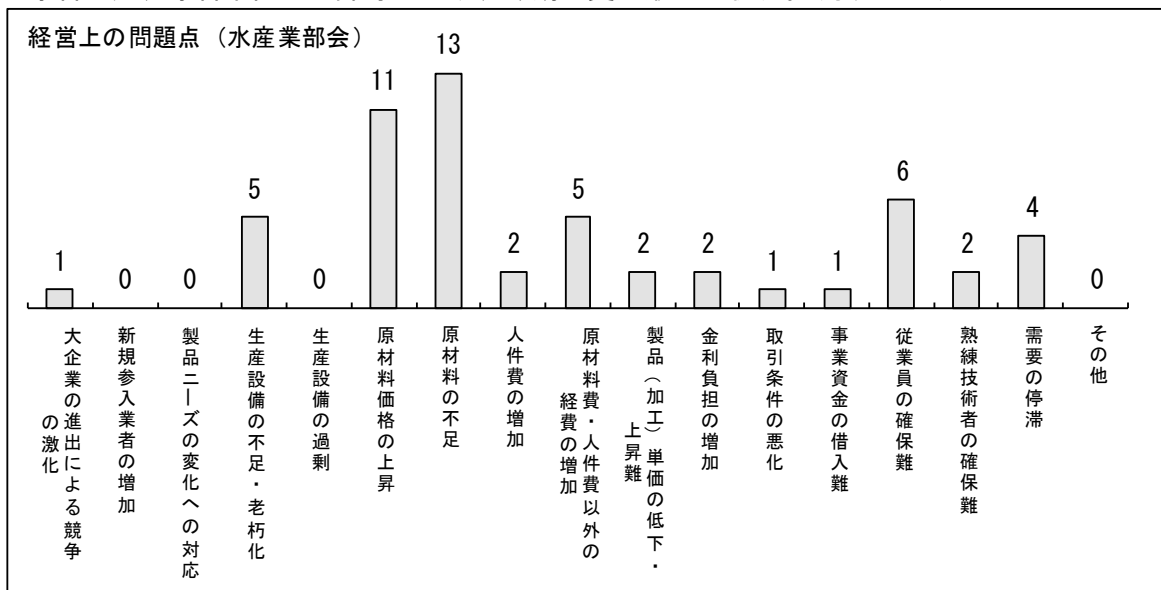


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲18.8（前年DI値▲21.1、来期見通し▲43.8）〕

業況判断DI値（前年同期比）は休漁期ということもあり、大きな変化は見られなかったものの、若干改善しています。海明け共に、様々な魚種が水揚げされているとの報道がなされ、港も活気付いてきましたが、帆立の減耗等により、各水産加工場では荷割が減少しているため、他地域から原料を仕入れる等、依然として原料確保に苦慮しているとの声が寄せられております。経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」がより多く寄せられています。来期の見通しとしては、更に大きな悪化の値を示しており、当所へも危機感を募らせる声も寄せられていることから、支援策等を行政と共に進めたいと思っております。

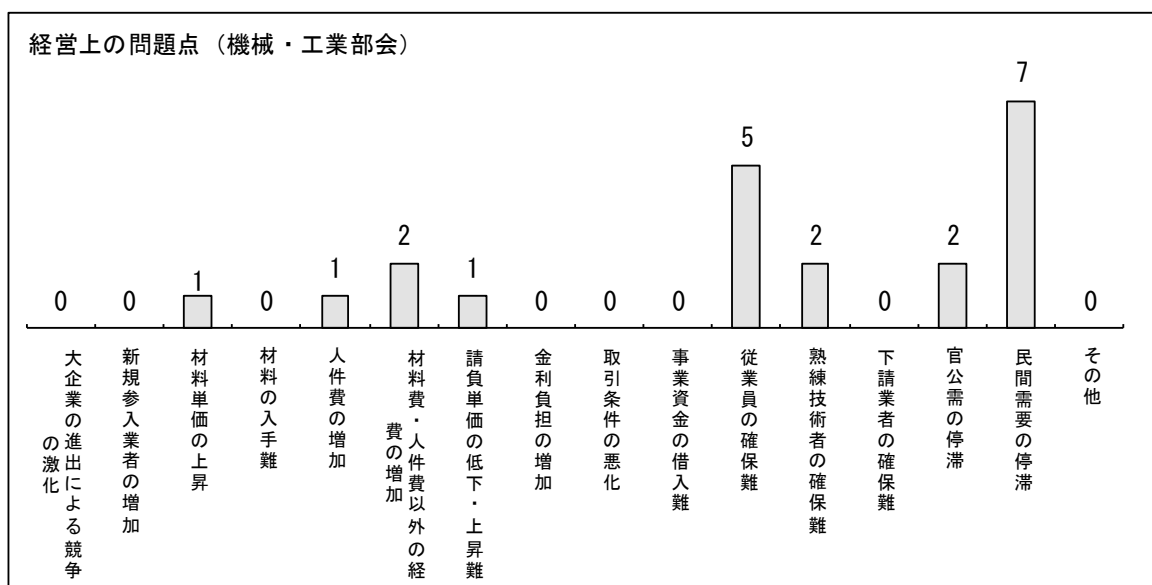
《業界の問題点等》

・原料不足、原料単価の上昇等により、今期は更に厳しい状況。（水産加工）



【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）6.3（前年DI値▲38.5、来期見通し12.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、大規模公共工事の終了に伴い、大きく業況悪化を示していた昨年の反動も作用してか、前年比44.8ポイントと大きく改善となりました。林業や農業関係では機械等の入れ替えや修理等は順調に推移していると聞いております。しかしながら、水産業の業況悪化に伴い、資材の受注が減少する等、影響が出てきているとの声も寄せられております。来期業況見通しは12.5と6.2ポイント改善する予想となっております。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「従業員の確保難」などを訴える声が多くなっています。

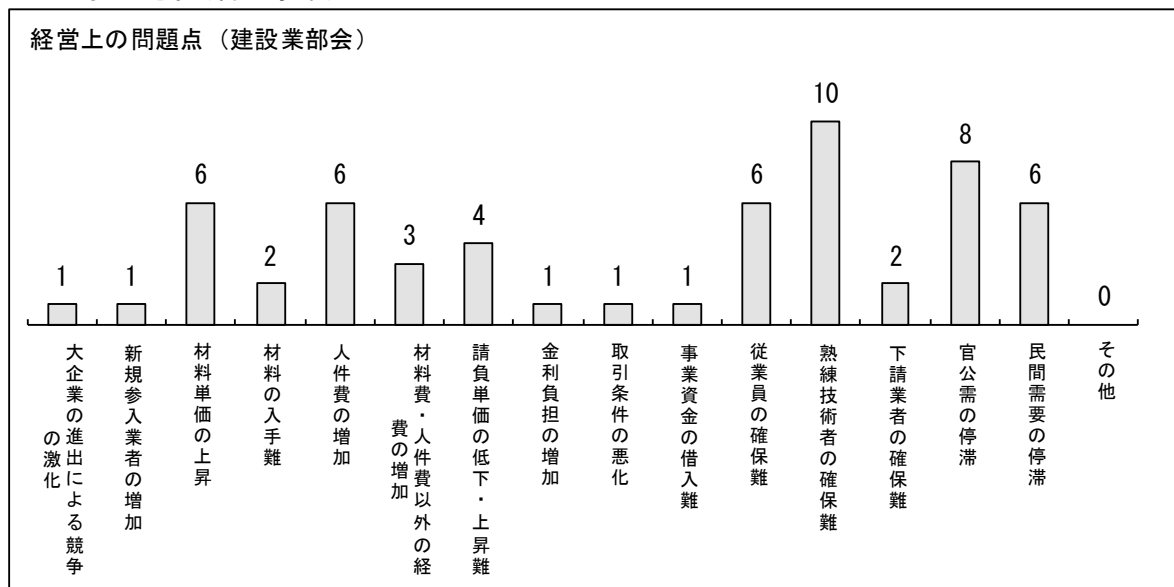


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲27.8（前年DI値▲11.8、来期見通し▲5.6）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年比16ポイントの悪化となりました。暖冬の影響により、降雪の出動回数が少なく、輸入材料や原料等の高騰により材料単価が上昇していることも影響し、多くの企業が大幅な悪化になったものと思われます。次期については改善の見通しとなっており、森林認証材を使用した地元業者による建築を対象とした市の補助制度の延長や、水道管・電線の取替工事も行われていることから、最盛期に向けて回復しながら推移していくものと思われます。経営上の問題点としては「熟練技術者の確保難」「官公需の停滞」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・建設業界への若手の参入低下。熟練工の低迷での人材不足。官公の金額低下での賃金上げ幅の少なさ。（管工事業）



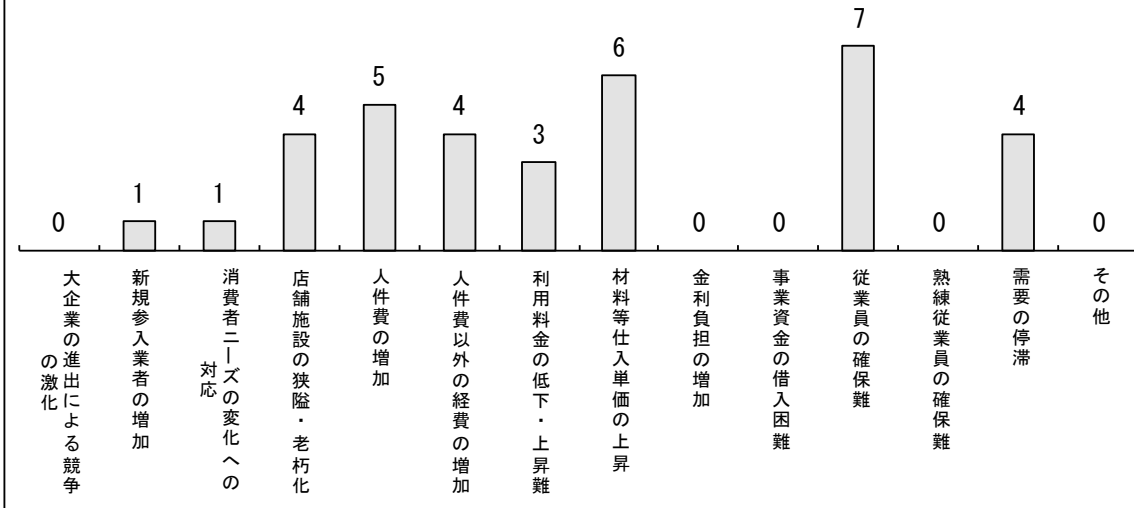
【観光・サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲17.6（前年DI値▲5.0、来期見通し5.9）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも12.6ポイント減とやや悪化しています。冬観光は近年流氷の接岸日数の減少や、観光客の滞在時間がツアーのスケジュールであまり確保されず、土産品等の消費が伸び悩んでいるとの声も寄せられております。介護業界は依然として人材確保に困窮しており、経営縮小も考えざるを得ない状況を示す等、更に厳しい状況を訴える声も寄せられております。経営上の問題点としては、「従業員の確保難」「材料等仕入れ単価の上昇」などを心配する声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・人口減少による客の入り込み数の低下が問題になるだろう。（飲食業）
- ・全国的な理容業界の高齢化による衰退。若い男性の女性化により技術に追いついていない。美容界のレベルアップがすごい。地位向上。（理容業）
- ・ツアー客の滞在時間が短いことによる売上減少（卸売業）
- ・介護職員不足により、2ユニットでの経営が厳しい状況にある。この状態が続けば2ユニットから1ユニットの縮小した経営に変更せざるを得ない。（介護）

経営上の問題点（観光・サービス業・諸業部会）



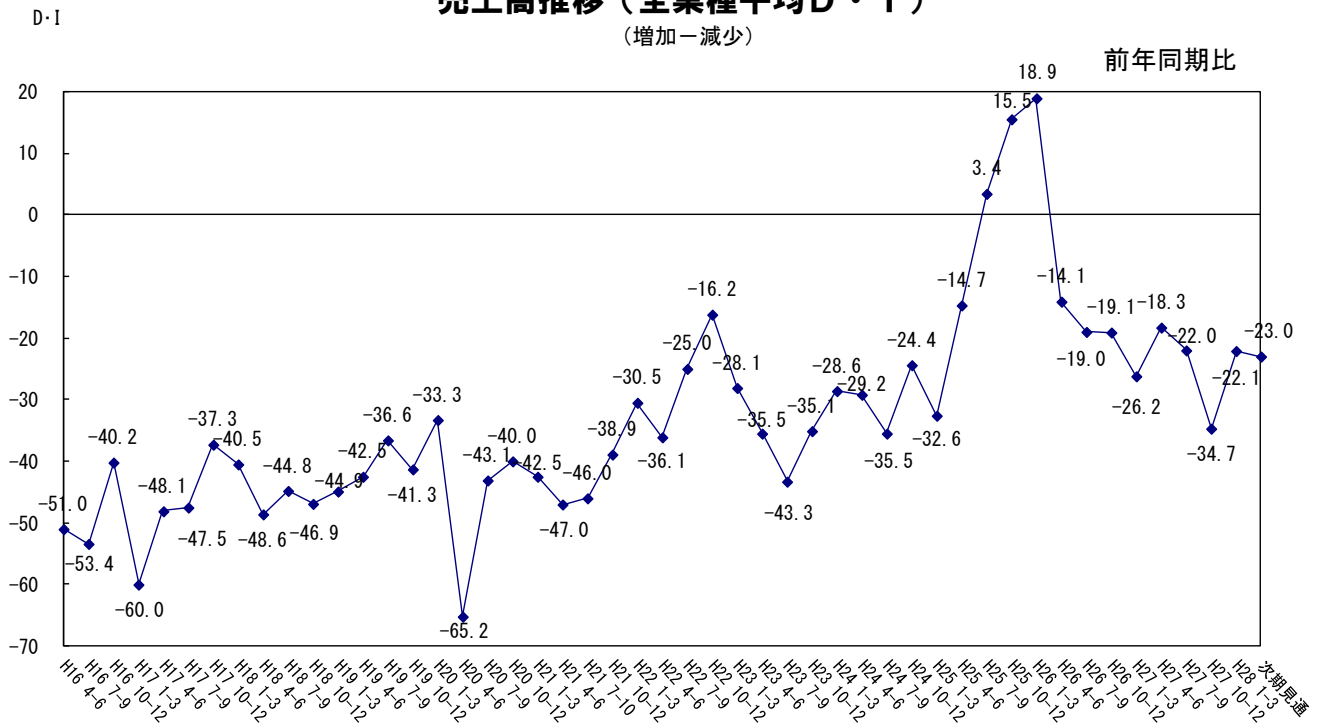
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

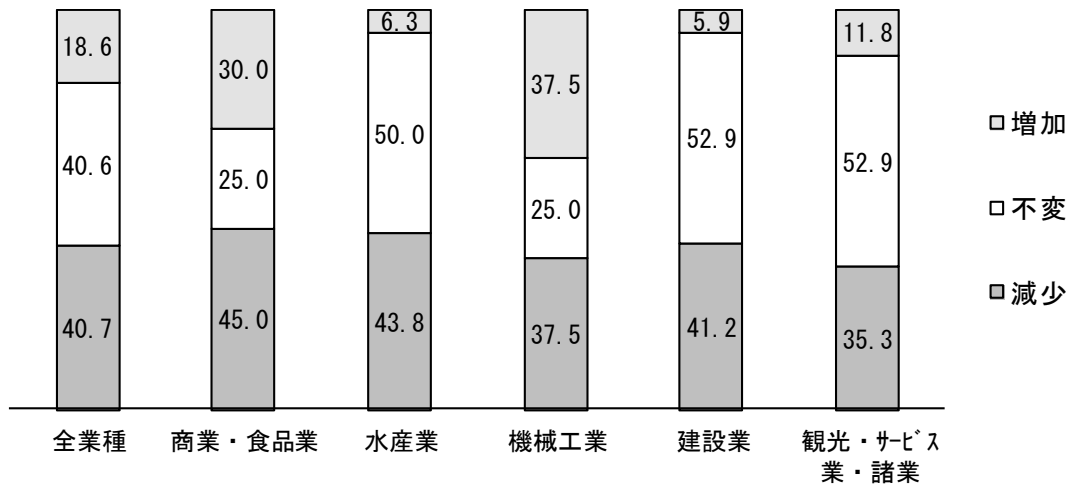
【前年同期比】（平成27年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



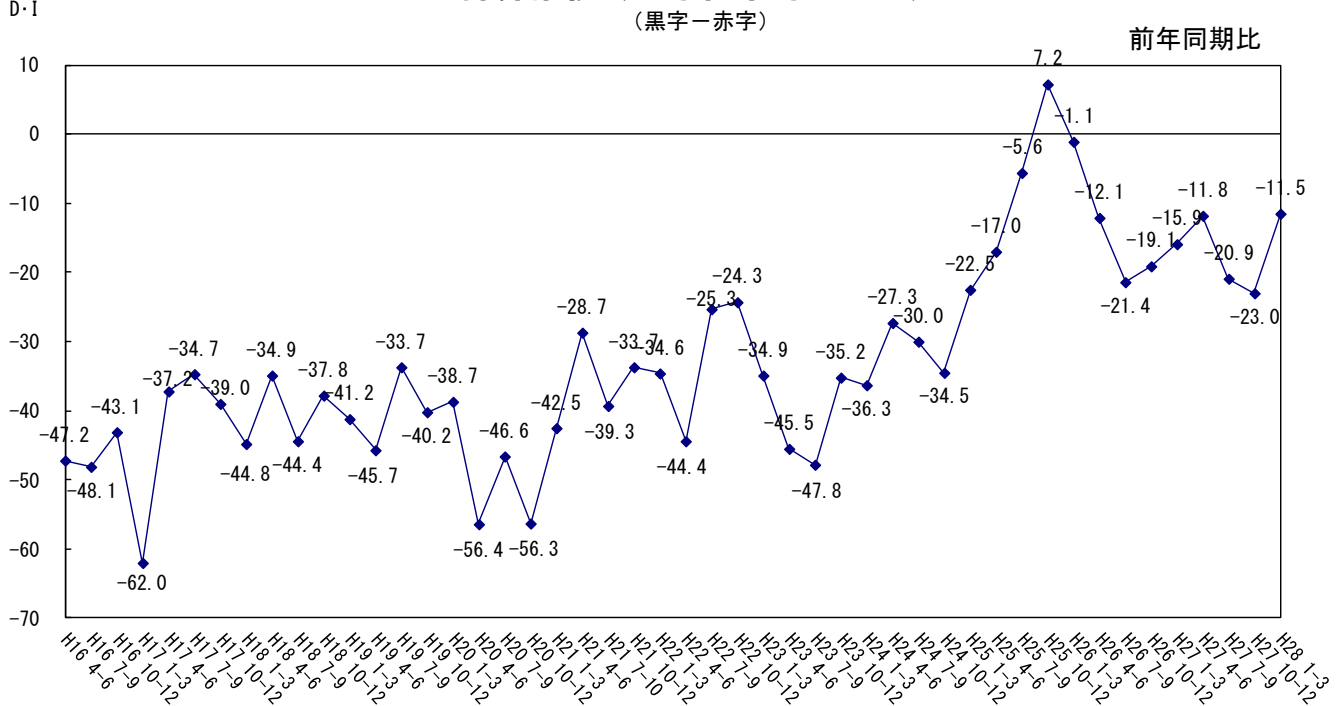
全業種平均でDI値▲22.1〔前回調査時（平成27年10～12月期▲19.7）より2.4ポイント悪化〕 建設業と水産業は悪化、その他の業種は改善。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲26.3→▲15.0〕、水産業〔前年▲31.6→▲37.5〕
 機械工業〔前年▲53.8→0.0〕、建設業〔前年5.9→▲35.3〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲30.0→▲23.5〕

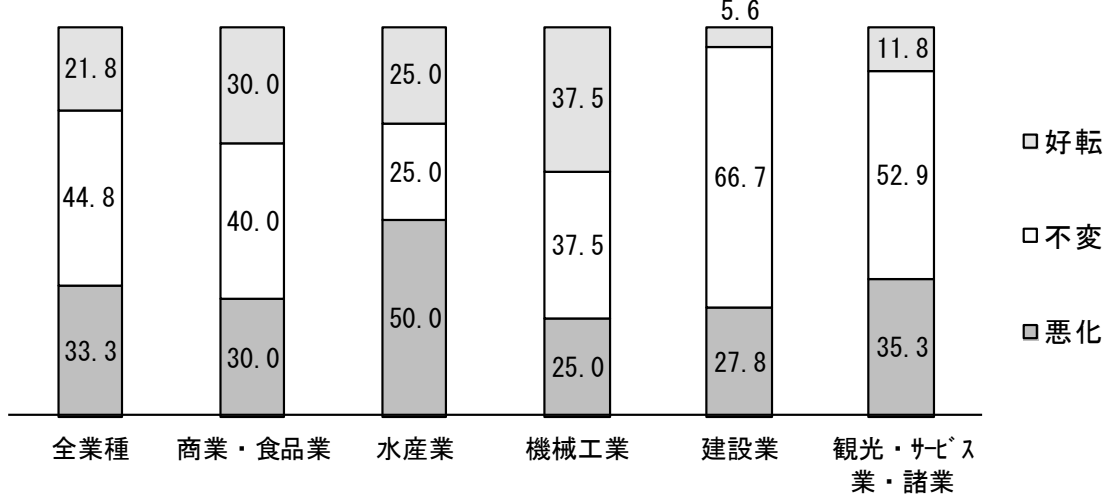
(2) 今期の採算

〔前年同期比〕（平成27年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）



今期の採算（前年同期比）



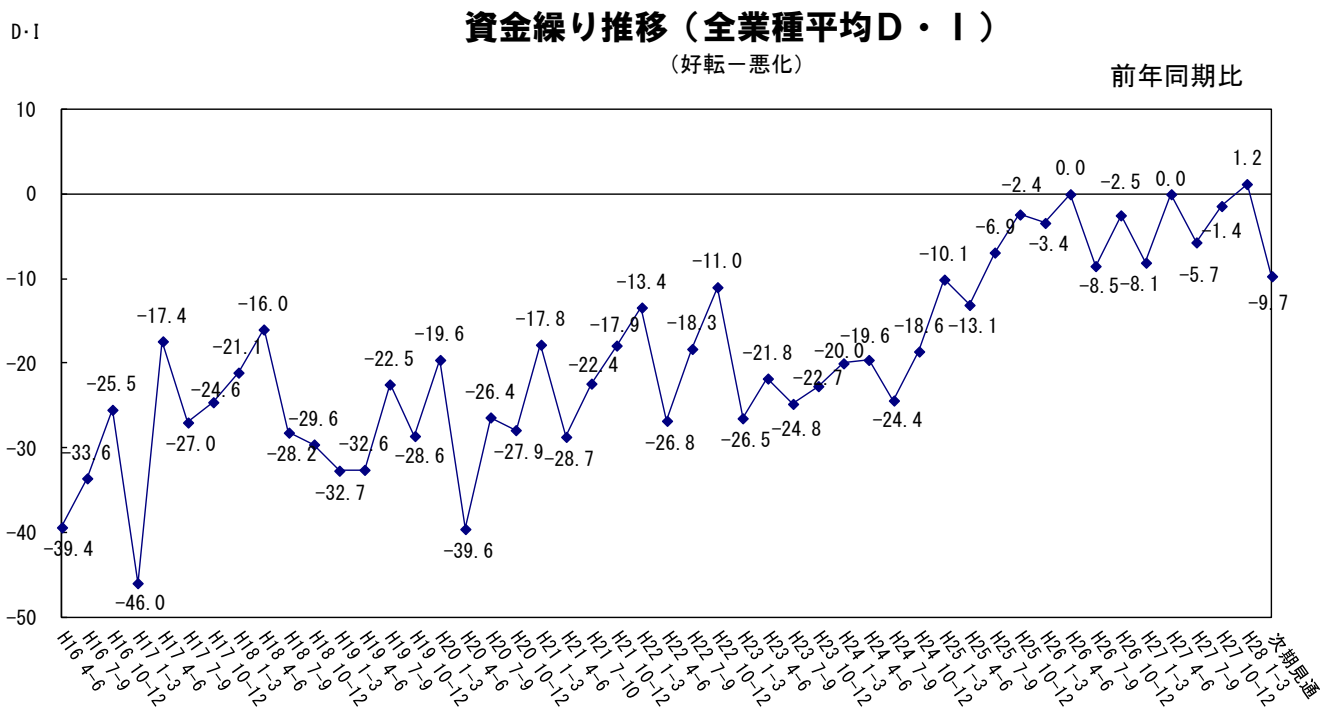
全業種平均でDI値▲11.5〔前回調査時（平成27年10～12月期▲23.0）より11.5ポイント改善〕

商業・食品業は横ばい、機械工業は大きく改善したが、その他の業種で悪化。

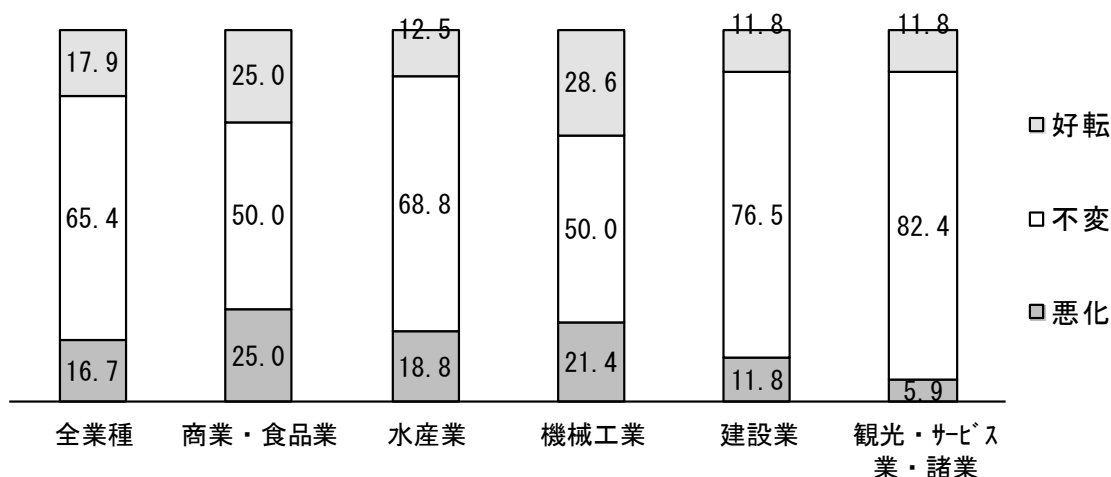
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→0.0〕、水産業〔前年▲10.5→▲25.0〕
 機械工業〔前年▲30.8→12.5〕、建設業〔前年▲17.6→▲22.2〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲25.0→▲23.5〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成27年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



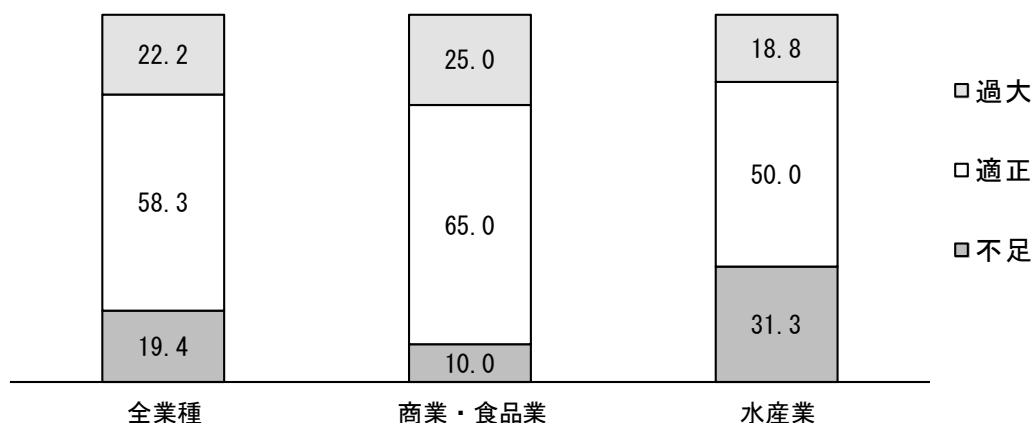
全業種平均でDI値1.2〔前回調査時（平成27年10～12月期▲1.4）より2.6ポイント改善〕全業種で改善。

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲5.6→0.0〕、水産業〔前年▲21.1→▲6.3〕
 機械工業〔前年0.0→7.1〕、建設業〔前年▲5.9→0.0〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲5.3→5.9〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成27年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



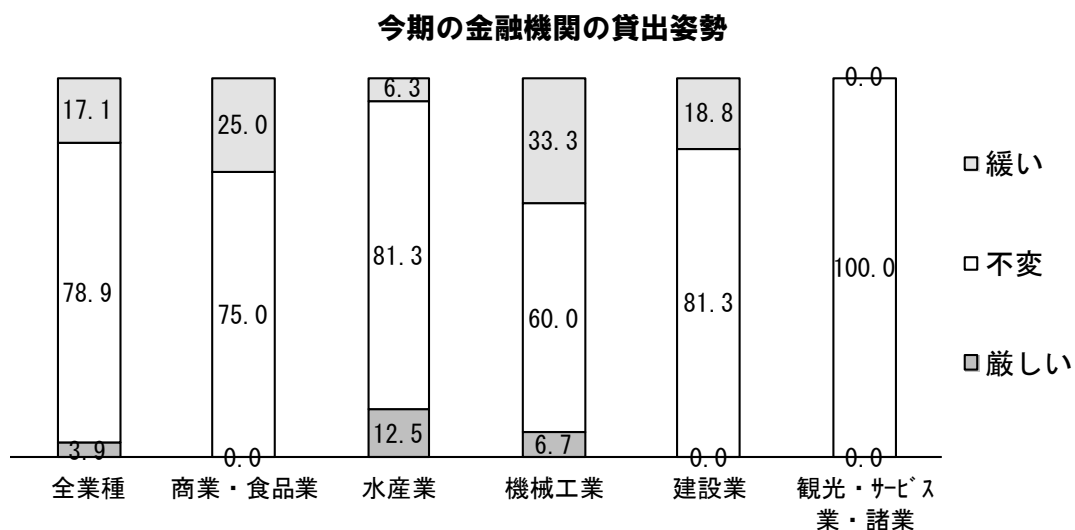
全業種平均でDI値2.8〔前回調査時（平成27年10～12月期▲18.8）より21.6ポイント在庫増加〕

商業・食品業は在庫増加、水産業は在庫不足。

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年5.3→15.0〕、水産業〔前年▲10.5→▲12.5〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

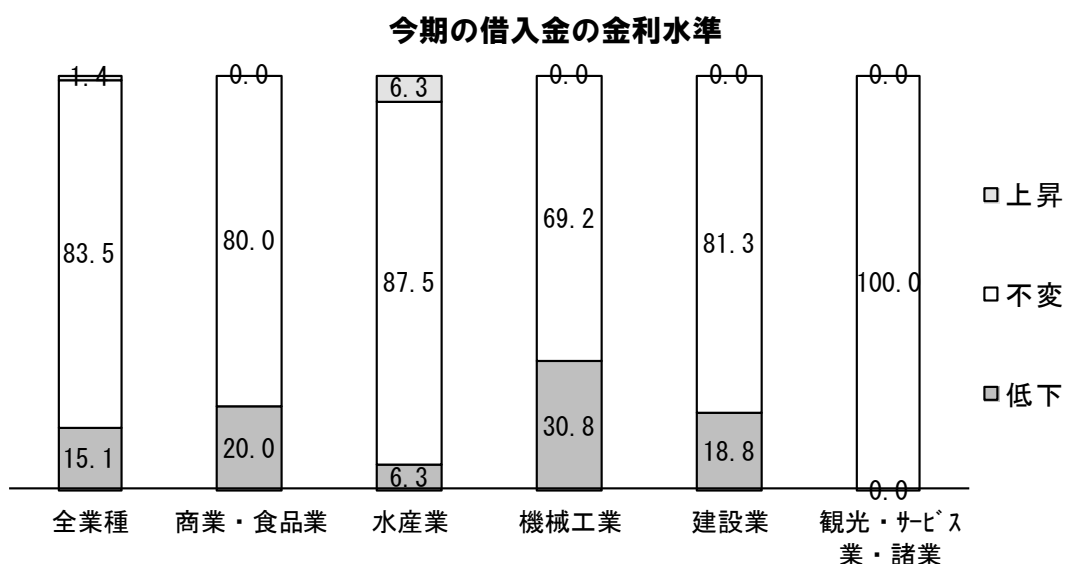
【前年同期比】（平成 27 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で **13.2** ポイント。商業・食品業 **25.0**、水産業 **▲6.3**、機械工業 **26.7**、建設業 **18.8**、観光・サービス業・諸業 **0.0**

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 27 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

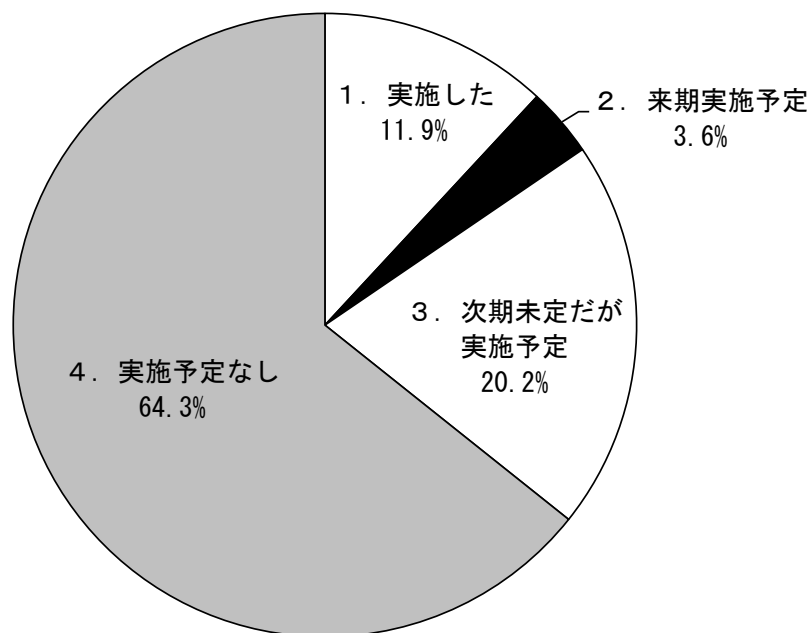


全業種平均で **▲13.7**。商業食品業 **▲20.0**、水産業 **0.0**、機械工業 **▲30.8**、建設業 **▲18.8**、観光・サービス業・諸業 **0.0**

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

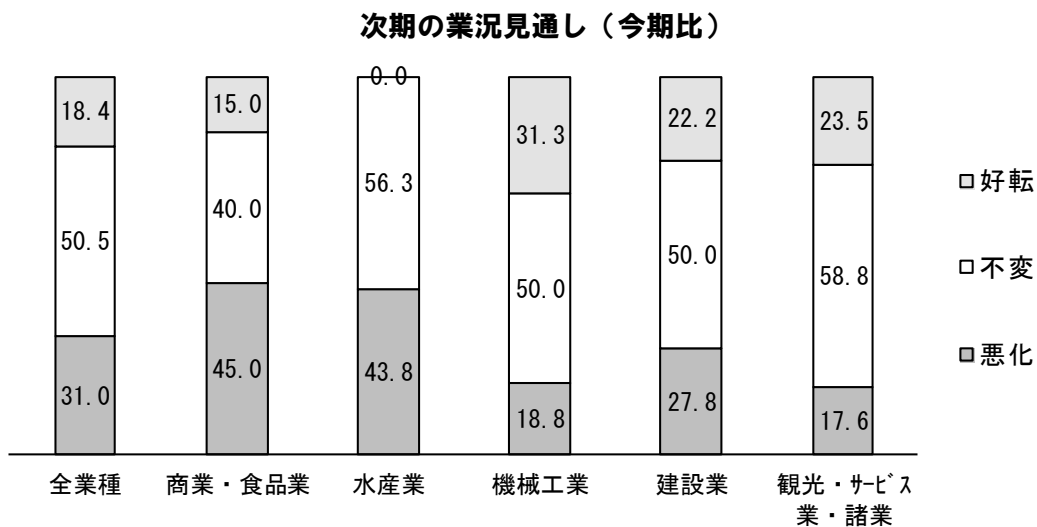
設備投資の実施状況



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成28年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）

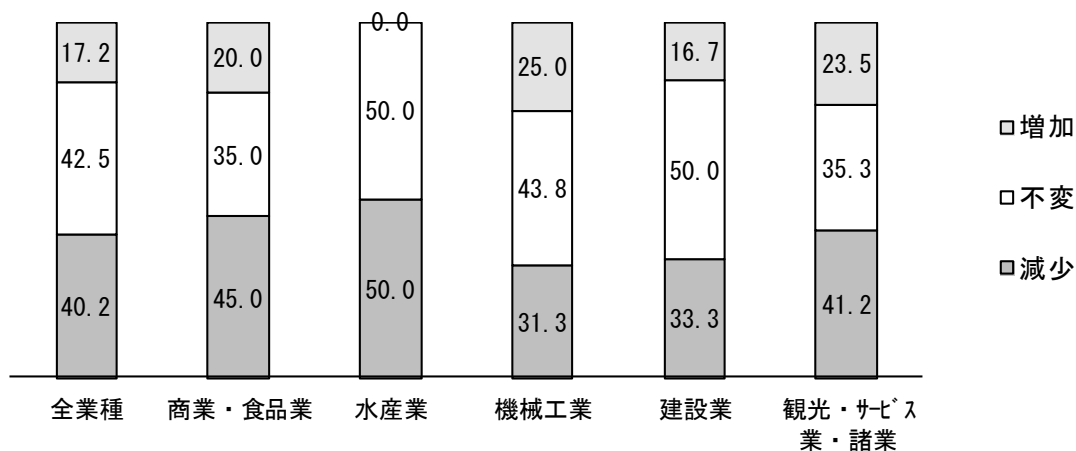


全業種平均DI値▲12.6〔今期の業況（前年同期比▲18.2）より5.6ポイント改善の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

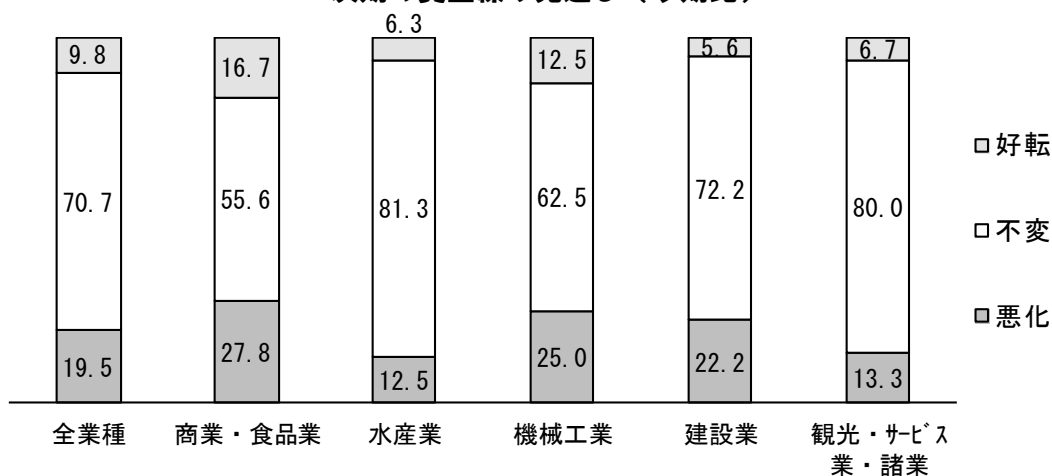


全業種平均 DI 値▲23.0 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲22.1）より 0.9 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 ▲9.7 [今期の資金繰り（前年同期比 1.2）より 10.9 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲12.6	▲5.0	▲18.8	6.3	▲27.8	▲17.6
	来期見通し	▲12.6	▲30.0	▲43.8	12.5	▲5.6	5.9
売上 D・I	今期実績	▲22.1	▲15.0	▲37.5	0.0	▲35.3	▲23.5
	来期見通し	▲23.0	▲25.0	▲50.0	▲6.3	▲16.7	▲17.6
在庫 D・I	今期実績	2.8	15.0	▲12.5	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲11.5	0.0	▲25.0	12.5	▲22.2	▲23.5
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	1.2	0.0	▲6.3	7.1	0.0	5.9
	来期見通し	▲9.7	▲11.1	▲6.3	▲12.5	▲16.7	▲6.7
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	13.2	25.0	▲6.3	26.7	18.8	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲13.7	▲20.0	0.0	▲30.8	▲18.8	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。